

社会福祉法人緑野会
みどりの保育園 「みどりの編集委員会」
〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-57-2
TEL.042-375-0117 FAX.042-375-7722
mail tama-midorino@nifty.com
URL <http://midorinohoikuen.kids.coocan.jp/>
2022年3月発行

1年生のみんな元気に過ごしていますか？みんなが卒園してもうすぐ1年が経つね。今年もきみどりぐみから卒園の歌が聞こえてくる時期になりました。みんなとの思い出は楽しいことばかりで毎日笑っていたよね。お泊り保育、運動会、クリスマス会、どんなことも力を合わせて乗り越えられたきみどりぐみだったから、きっと今も学校でいろいろなことにチャレンジしているだろうなと思っています。いつまでも変わらずみんなのこと応援しているからね。頑張ってね。



みどりの保育園 令和2年度きみどりぐみ担任 菊池未央

1年生のみなさん、元気に過ごしていますか？もうすぐ卒園して1年が経ちますね。勉強は頑張っていますか？私が初めて受け持ったクラスで、山に散歩に行ったり、プールに入ったり、たくさん行事をみんなでやったこと、時々思い出します。元気いっぱいみなさんにまた会いたいです。いつでも遊びに来てね。



みどりの保育園 令和2年度きみどりぐみ担任 ぬのやかりん

せきどみどりのほいくえん 1きせいのみなさんへ

みなさん、おげんきですか？そつえんイベントであったときはひとまわりおおきくなったみなさんにドキッとしながら、かわりないすがたにホッとしました。ひさしぶりにあってよくさんぽでいった、たまがわ！たのしかったね。さんぽでたまがわにはよくいき、みんなのことをおもいだしています。5にんというすくないにんずうでしたが、そのぶんみんながなかよくたのしくすごせましたね。おとまりほいくやクリスマス会、みんなでいったたまどうぶつえんやきょうどのもりこうえん、みんなとすごしたじかんは、たいせつなたからものです。ザリガニのきみちゃんとあおくんはいまでもげんきですよ。ほいくえんのちかくにきたときはかおをみせにあそびにきてください。まっています。



せきどみどりのほいくえん 令和2年度 きみどりぐみたんにん
石井 弓子 (いしいゆみこ)

みどりの保育園

そつえんせい 卒園生のみなさんへ



そつえんせい
卒園生のみなさんへ

そつえんせい
卒園生のみなさんお元気ですか？

えんてい しらうめ
園庭の白梅がきれいに咲きました。さくら えだきき はなひら じゅんび
桜の枝先も花開く準備をしているかのように少し膨らんで
きました。そつえんせい
卒園生のみなさんも、がっこう しょくば かてい
学校、職場、家庭などそれぞれの場所で様々な思いで
はる つか
春を迎えられていることでしょう。

みどりの保育園では、コロナ禍でお泊り保育が中止となり、デイキャンプ（お楽しみ会）となり
お別れ遠足も電車ではなく、貸し切りバスでの実施となりました。どこへでも徒歩と公共の交通
機関を使って出かけるみどりの保育園が貸し切りバスに乗る日がくるなんて、夢にも思いません
でしたが、子どもたちは大喜びでした。これもできない、あれもできないとはならず、こう
すればできると子どもたちと一緒に職員が知恵を絞り、子どもたちの活動を保障してきました。
もちろん、保護者や地域のみなさんのご理解があつてのことです。

ちきゅう อบอุ่น かい
地球の温暖化による異常気象、コロナ禍、果ては彼の地での戦火・・・と社会情勢は不安なことばかりです。それでも、子ども達が育った先にある社会が少しでも明るいものになっていくよう
どりよく
努力していきたいと思ひます。

ことし めい すだ
今年も25名が巣立っていきます。それぞれが逞しく人生を歩んでいくことを信じています。

そつえんせい
卒園生のみなさんも、折にふれみどりの保育園にいらしてくださいね。

みどりの保育園 園長 山口明日子

そつえんせい 卒園生のみなさんへ



そつえんせい
卒園生のみなさんへ

みなさん。こんにちは。お元気ですか？

こんねんど きくねんどうよう
今年度も昨年同様、コロナ禍での生活となりました。ただ、今年度は保護者、地域のみなさま
のご理解とご協力のもと、子どもたちと一緒に職員も知恵を出し合い、昨年度よりも日々の
保育、行事もスキルアップ、バージョンアップする姿がありました。感染症対策を講じての保育
参加の実施、運動会、クリスマス会、卒園式への保護者参加。オンラインでの動画配信を行っ
た祖父母の集い。特に印象的な事は『お店屋さんごっこ』で取り入れたオンラインでの注文と
デリバリーサービスです。コロナ禍ならではの物を取り入れました。私もまさか保育現場で
パソコン、タブレット、ズームアプリを取り入れる日がこんなに早く訪れるとは思ひもありません
でした。更に驚いたのはICTへの子どもたちの順応性の早さでした。その日の様子はホーム
ページの『今日のみどりの』にアップしていますのでぜひご覧ください。

こんねんど
今年度はうれしいことに中学生職場体験で卒園生が来てくれました。保護者の方にもお会いでき
保育園当時の話しもする事ができました。来年度はより多くの卒園生のみなさまと交流でき
るといいなと思ひています。ぜひ保育園の近くに来ることがありましたらお立ち寄りください。
お待ちしております。

みどりの保育園 主任保育士 山岡文真

関戸みどりの保育園

そつえんせい 卒園生のみなさんへ



そつえんせい みなさんこんにちは。

関戸みどりの保育園が開園して2年が経とうとしています。開園当初37名だった園児も今年は48名となりました。関戸みどりの保育園の子ども達は、はじめのうちは遠くまで歩いたり、斜面を登ったりすることがあまり得意ではなかったのですが、今年はいよいよ体力がついてきて、遠くの公園まで行って楽しむことが出来るようになりました。お手ほりでは、みどりのと同じ蓮光寺公園の隣の畑まで歩いて行って、大きなお芋をたくさん掘りました。みどりのでは定番の、斜面や塀、木登りも上手になりました。たくさん身体を動かすので、ご飯も前に比べてたくさん食べるようになりました。人数が増えたのでケンカもたくさんしています。悔しくて泣くこともたくさんありますが、同じだけ笑っています。どんな姿を見ても、「そういえばみどりのでも同じような姿があったな〜。」とみどりので過ごした頃のみんなの顔が浮かんで、懐かしい気持ちになります。

来年度はさらに園児が増えて、今まで一緒に過ごしていた3歳~5歳児もみどりのと同じように3~4歳児異年齢グループと5歳児に分かれて過ごします。これからますます賑やかになっていく関戸みどりの保育園をこれからもよろしくお願ひします。

関戸みどりの保育園 園長 池川恵美子

そつえんせい 卒園生のみなさんへ

関戸みどりの保育園が開園して早くも4月で3年目を迎えます。

1年目は5人、2年目はきみどり組が1人でしたが、蓮光寺の協力のもと、年長ならではの行事を交流しながらできました。一昨年はお泊り保育、昨年はコロナのことがあり、お泊りはしなかったのですが、夜のお楽しみ会で盛り上がり、楽しそうな子どもたちでした。クリスマス会のページェントは1年目は園内で、昨年は蓮光寺で一緒に行いました。練習の過程を見させてもらい、ひとりひとりのがんばりが目に見えて感動しました。今までの蓮光寺での思い出や、同じ、みどりの同士のつながりを感じたこの2年を大切にしたいと思います。



関戸みどりの保育園 主任 山浦佳織

卒園生

わたしはあかぐみから入園し、当時孕石先生が担任でした。
当時からとても優しい先生で、長男入園のため見学に行かせていただいた際に何十年かぶりにお会いしたのですが姿を見てすぐにわかりました。先生も再会を喜んでくれ、今でも覚えていてくれたこと、もうすっかり大人になったのに子供の頃と変わらず優しく迎えてくれたこと、とても嬉しかったです。

毎日自然の中でたくさん遊び、のびのびとした園での生活はとても楽しいものでした。母から当時の連絡帳を見せてもらいましたが母と先生との交換日記といった感じで、色々なことがびっしりと書かれており当時の母と先生からの愛情が感じられました。いま自分も母親になり育児をしてみると、改めて母や先生には感謝しかありません。園に通うようになり息子もこの一年で本当に成長しました。コロナ禍で大変な中保育を継続して下さること、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

通い始めた当初は大泣きしていた息子も、今では自宅でおもちゃを並べながら担任の先生やクラスのお友達の名前を「みんなだーいすき！」と嬉しそうに言うまでになり、毎日園で楽しく過ごしているのがよくわかります。

自分も卒園した園にいま息子が楽しく通い成長する姿を見て、とても幸せです。この春からは子供達2人揃ってお世話になります。これからも先生方のお力を借りながら、子供達にも園でいろんなことを学び、毎日楽しく元気に過ごして行ってほしいなと心から思います。

平成8年度卒園 高室 萌里



私が小さな時に友達と遊んだ園庭も遊具も砂場も少し残っているみどりの保育園、入り口にいて天使も園庭の端にある豚と馬の遊具、小さな小屋も私が通っていた時にあった遊具でした。当時の私は友達と一緒に担任の保育者を何とか落とし穴に入れようと時間をかけて掘り、出来上がったところに担任を呼ぶと「なになに～！！」と穴を軽々と超えられ悔しかったことや、少し穴を掘るとミミズが出てきたのでそれをアヒルに素手であげたり、大谷戸公園の山道を散歩で行ったりなど蓮光寺の自然豊かな環境の元、元気に過ごしていました。中でも印象に残っているのはクリスマスページのガブリエル役になったこと、人気の役でじゃんけんをしてその役を勝ち取りました。長いセリフを園でも家でも練習し本番きれいなブローチを園長先生からつけてもらい、緊張しながら臨んだことを覚えています。今では懐かしい思い出ですが、保育園で過ごした素敵な思い出です。



平成11年度卒園 熊澤 晴奈
(関戸みどりの保育園 保育士)

卒園生 イベント

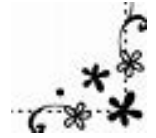
卒園生のみなさん、元気ですか？コロナ禍で学校生活も当たり前ことができなくなって大変ですね。保育園も毎日消毒したり、密にならないように給食も一人で黙食中、行事も形を変えたりして、なんとかやりくりしています。大人のマスク姿に乳児クラスの子たち泣くことなく普通に馴染んでいるのでホッですよ。卒園生の集いも残念ながら中止でしたね。今年こそ開催できるといいな。皆さんの小さな後輩たちもコロナに負けず元気に遊んでますよ。早く収束することを願っています。とんでけとんでけコロナ～バイバイ！！

きいちご(一時保育)担当 6年生の卒園時担任 荻野宏美





連光寺学童クラブ便り



れんこうじしょうがくどう 連光寺小学童クラブ

連光寺小学童クラブは、多摩市から運営受託を受けて7年目となりました。受託初年度にみどりの保育園を卒園して小学校1年生になった子どもたちは、今年中学生になりました。

現在、連光寺小学童クラブは、連光寺小学校の校庭の西側に建物があります。近くの道路からも見えるので、学童クラブに在籍していた中学生が手を振ってくれたり、弟や妹の迎えに来てくれたりすることもあります。

学童クラブで過ごす子どもたちのほとんどが3年生までですが、その後の成長も見守って関わっていけるところが学童クラブの良いところです。

実際の学童クラブの生活で職員が皆心掛けていることは、子どもたちに「毎日行きたい」「行けば何か楽しい経験ができる」と思ってもらえるような準備をすることです。それは、楽しい行事やイベントだけではなく、ちょっとした素材、おもしろい体験談、変わった食感の食べ物など考えられることはたくさんあります。

小学校の敷地内の中で子どもたちは様々な遊び方をしています。砂場の底まで砂を掘り起こして落とし穴や山を作ったり、生き物探しに出かけヒキガエルやサワガニを捕まえたり、次の日が氷点下になる日には、変わった色や形の氷を作るためにトレイやカップ、ゴム手袋に色々な氷を入れて準備したり……。夜にはタヌキがやってきたり、正月は凧を校庭で思いっきりあげて何度も高い木に引っ掛けました。

今年度もコロナ禍の中試行錯誤の1年となりましたが、毎日学童クラブに行くことを楽しみにして夢中になって思い思いに過ごしている子どもたちの姿があります。みどりの保育園の卒園生の皆様も近くを通りかかった際には是非声をかけてください。そして懐かしんだり、自分が小学生の頃を思い出しながら心を温かくしたりして一緒に子どもたちと遊んでいってほしいなと思います。

れんこうじしょうがくどう
連光寺小学童クラブ 菊池 康成



聖ヶ丘学童クラブのこの一年

2021年度を振り返って

今年度もコロナ禍での育成となりました。なるべく外遊びを勧め、今年も庭全体にミストがいくようにして、熱中症対策も併せて実施しました。また、ひじり館側のプレイルームを可能な限り貸していただき遊びや学習、おやつなど、密にならずに生活できました。ひじり館さんには感謝でいっぱいです。子どもたちには、マスクの着用、手洗い消毒の徹底を声掛けしての黙食、保護者の方には毎日の検温を記入してもらうなど、聖ヶ丘学童クラブに関わる皆様にご協力をしてもらうことで、学童クラブ内での感染拡大にはつながりませんでした。

大きなイベントは中止、又は規模を縮小しての開催でした。どうやって子どもたちに楽しんでもらうか、職員が工夫しながらできることをやってきました。

流しそうめん、学童プール、お店屋さんごっこ、焼き芋は中止。ハロウィンはお化け屋敷に入る人数を区切りながら行い、お菓子をもらって楽しみました。ドッジボール大会は試合数を減らしてお庭で行い、応援は距離を保ってしました。熱戦が続き大いに盛り上がりました。冬のお楽しみ会はひじり館のホールを借りて行いました。舞台から少し距離をとって鑑賞しました。ダンス、ジャグリング、クイズなど仲間の出し物を楽しむことができました。サンタさんが来た時には最高潮で、プレゼントをもらって大喜びでした。3年生の遠足は若葉台の公園まで歩いてピクニックに行きました。本来なら、電車やバスを利用して遠くの水族館やミュージアムなどに出かけるのですが、コロナ禍ということで公共の乗り物は避けました。歩いて30分ほどかかりましたが、楽しくおしゃべりしながら歩いたのであつという間でした。広い公園で思いきり走り回り、ボールをぶつけあったり、タコをあげたり、紙飛行機を飛ばしたり、池をのぞいて落ちそうになったりと、もう「これでもか」というほど遊んできました。帰り際にコーチャンフォーで記念のお買い物をしてから帰りました。帰りも足取りは軽く楽しい一日となり、やってよかったなと思います。

コロナ禍では地域の方との交流もなかなかできませんでしたが、地域商店街のある高齢者施設と、暑中見舞いやクリスマス飾りの交換をしました。また、ひじり館のクリスマスイルミネーション点灯式でハンドベルを披露してスイッチを押させてもらいました。

今年の一年間は、「コロナだからできない」ではなく、「この状況でできることは何か」を考えながら過ごしました。まだまだコロナ対策はまだ続きます。これからもできないことが当たり前ではなく、その中で何ができるかを考え、子どもたちが楽しめるよう工夫して過ごしていこうと思います。

ひじりがおかがくどう 聖ヶ丘学童クラブ 施設長 小林 勉

NEWS

土田 和歌子さん 応援しています。

東京パラリンピックにて聖火リレーの走者を務め、
陸上女子マラソン・トライアスロン
沢山の活躍をされているようです。



編集後記

今年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症と共に過ごす一年でした。一年遅れで開催された東京オリンピックも、一部の会場で無観客になるなど、何をするにもコロナの影響を受けながらだったように思います。みどりの保育園でも、こまめな消毒を行ったり、行事では大勢の子どもが密集しないように、オンラインを活用したりするなど、どうしたら子どもたちが楽しめるかを考え、これまでとは違ったやり方で行ってきました。そのため子どもたちは、色々と制限がある中ではあるものの、笑顔で園生活を楽しんでいたように感じます。これも保護者の皆様のご理解・ご協力があってこそだと思っています。深く感謝申し上げます。

最後に医療に携わる方々、福祉に携わる方々、飲食業務に携わる方々、その他すべての方々に労いと感謝を申し上げます。早く収束に向かい、通常の日常が戻りますように。

会報誌『みどりの』へのご意見、ご感想。また「こんなの載せてほしい」などがありましたら、是非保育園までメールをお願い致します。では、また次号でお会いしましょう！

みどりの 26 号編集委員 高田 山本 浜田 伊藤